KPU NEWS
社会を動かす薬学へ。
京都薬科大学
KYOTO PHARMACEUTICAL UNIVERSITY
No. 204 Jan. 2021

2021(令和3)年　年頭のごあいさつ

理事長　土屋　勝

新年、明けましておめでとうございます。

京都薬科大学関係者の皆さま方には、新たな気持ちで2021（令和3）年を迎えられたことと存じます。

昨年は、本学にとって大きな危機が2つあったと思っています。

一つは、外なる危機である新型コロナウイルスの感染拡大防止のための本学の対応です。1月に日本国内で初めて感染者が確認されてから、感染は瞬く間に全国に広がり、1年を経過しようとしていますが、その収束は未だ見通せず、依然として予断を許さない状況です。

本学では、新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、2月に危機管理対策本部を設置し、3月以来、卒業式、入学式を始めとするイベントの中止、3ヶ月の長期に渡るキャンパスへの入構制限、それに伴う遠隔授業の実施など、本学が今まで経験したことのない未曾有の事態への対応をしてきました。これまで本学における感染防止対策は、学生、職員皆さまのご協力、ご努力のお陰をもちまして、関係者2名の感染を確認しているものの、クラスターの発生もなく功を奏していると思っています。

この新型コロナウイルス感染症には、治療薬およびワクチンが開発されるまで収束の目途が立たないものと考えられ、今後は「Withコロナ」の新しい生活様式で、日々新しい挑戦を続けなければならないものと覚悟をして、大学運営にあたらなければなりません。誰でも新型コロナウイルスに感染するリスクを持っています。皆さま方には、後藤学長から再三再四お伝えしているとおり、本学が医療系の大学であることを自覚し、自己防衛を第一に感染拡大の防止に努めていただくとともに、9月下旬に実施された学生相談室のアンケートの結果報告書に提示されている、コロナ禍における自粛による人間関係の希薄さや孤立感等の懸念を軽減する観点から、学生に対して可能な範囲での声かけ、できる範囲でのアドバイスなど必要なケアをよろしくお願いします。

もう一つは、内なる危機である教員2名の不祥事です。昨年7月に研究費の不正使用などで停職1ヶ月の懲戒処分を、9月にはアカデミック・ハラスメントなどの不適切行為で停職6ヶ月の懲戒処分をそれぞれ行いました。

CONTENTS

■ ご挨拶
2021(令和3)年 年頭のごあいさつ 理事長 土屋 勝 …… 1
新年にあたって 学長 後藤 直正 …… 2
■ 特集
2020年2月以降の進路支援の取り組みについて …… 4
■ 報告
【寄稿】学内ジョブ 新入生支援活動報告 …… 7
2019年度授業評価集計結果の報告 …… 8
「私の薦める、私の一冊」番外編 …… 10
【寄稿】大学の顔 -図書館と、愛学館エントランス銘板のこと- …… 12
2021年度学校推薦型選抜結果 …… 17
受賞・掲載 …… 22
京都薬科大学奨学寄附金芳名録 …… 24
■ コラム
私の薦める、私の一冊 …… 9
卒業生からのメッセージ …… 13
水中でぶつぶつ …… 16
学生相談室だより …… 19
■ イベント
「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2020京都」を開催 …… 11
2020年度 防災（避難）訓練を実施しました …… 11
2020年10月にオープンキャンパスを開催しました …… 18
■ お知らせ
京薬会様からの寄付金の贈呈 …… 3
京薬会だより …… 3
人事 …… 7
お知らせ …… 10
Library News …… 12
お知らせ …… 13
教育後援会からのお知らせ …… 14
2020年度後期試験等日程 …… 17
本学の薬物乱用防止に関する取り組みが表彰されました …… 18
生涯教育研究センターからのお知らせ …… 20
第106回薬剤師国家試験の概要 …… 22

教員の不祥事は、学生をはじめ職員の信頼、さらには社会の信頼をも著しく損ねる極めて許しがたい行為です。本学におけるこのような不祥事による懲戒処分は承知している限り初めてで、弊職として真に遺憾です。さらに、理事会でも「常識的なことができておらず、レベルの低さを感じる」などと痛烈なご批判を受けました。

これらの非違行為は、当事者の「自覚」と「意識」が足りなかったことが一番の原因です。常に、自分の置かれている立場を意識し、そして自覚を持って行動していただきたいと思います。既にコンプライアンス遵守やハラスメント防止のために研修会を実施し、職員の意識啓発を進めるべく例年以上に取り組んでいますが、今後も、大学一丸となって、コンプライアンス遵守に努めねばなりません。そのために、相談窓口の見直し、意識啓発のための説明会の開催、さらに、全職員に対するハラスメントが起きない大学づくりにはどのような対策を行うべきかなどのアンケートやハラスメントの防止・意識啓発のための研修会、説明会の実施など、あらゆる方策を講じ、二度とこのような事態を起こさないよう再発防止に取り組んでいく所存です。

さて、昨年7月、厚生労働省は、地域医療における薬剤師の対応、医療機関におけるチーム医療の進展、「患者のための薬局ビジョン」における薬剤師の推進など、薬剤師に求められる役割が変化していることを踏まえ、将来にわたる薬剤師の在り方を検討する「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」を発足させました。この検討会では、主として薬剤師の資質向上策や業務などについて議論されていますが、複数の構成員からは、臨床研修の不足、薬科大学（薬学部）入学者の定員割れ、留年、卒業延期などの問題を抱えていることを考慮して現在の入学定員を適正化すべき、などの意見が出ていて、薬学教育の在り方や入学定員の適正化にまで踏み込んだ議論がなされています。

さらに、検討会では、将来の医療需要、薬剤師の業務変化、薬剤師の勤務実態などの変動要因を踏まえた24年先の2045年までの薬剤師の需要と供給をみるため、需給調査を行います。昨年9月の2回目の検討会では、需給調査の具体案として、「タイムスタディ調査や働き方に関する調査」を実施、1日の各業務に費やす必要な時間を試算するほか、ICTの活用や機械化を通じて、「対人業務」の充実化と調剤業務の効率化に取り組む薬局・医療機関にヒアリングを実施し、先進的な事例を取りまとめる、としています。

厚生労働省は、従来から、各種の検討会での結果については、それらを考慮した施策を行っていることから、今後の薬学教育にも大きな影響を及ぼすものと思われます。今後とも、本学関係各位におかれましてはこの検討会の議論の行方を注視していただきますようお願いします。

最後になりますが、今年は「丑年」です。「牛」は、昔から農業に欠かせない重要な家畜とされ、農業を地道に手伝っていることから、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の兆候（芽が出る）」を表す年になると言われています。新型コロナウイルスの蔓延で、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれませんが、外なる危機と内なる危機に忍耐強く備え、地道に進み新たな発展へ繋げる年としたいと思っています。

新年にあたって-COVID-19禍中から-

学長　後藤 直正

明けましておめでとうございます。とは言え、新型コロナウイルス感染症（COVID-19)禍は、未だ先が見えない状況にあります。このようなときに正月のことを書くことも憚られます。2020年におけるCOVID-19禍から得た教訓を反芻したく思います。

2019年12月下旬に中華人民共和国の湖北省武漢市で原因不明の肺炎のクラスターが発生したことが保健当局によって報告されました。我が国では、武漢市に渡航歴のある方の感染と発症が厚生労働省から2020年1月16日に発表されましたが、まだまだ対岸の火事という認識であったように思います。航空機等によって世界各地を移動することが容易になったことから、日本も含めた世界各地へ急速に広がったと考えられます。世界各国は、国ごとの方策によって、COVID-19対策に全力を費やしてきましたが、約1年経過した12月でさえ、収束の目途も立たず、国連のグテレス事務総長が「世界は（国連が創設された）1945年以降初めて、国籍や人種などにかかわらず、共通の脅威と直面している」と危機克服に各国が結集するように呼び掛けるまでの状況でありました。

ここで学ぶべきことは、「その原因病原体によって感染症は伝播する」ことです。感染症以外の疾患は、どんな重篤な状態にあっても伝播させないのです。当たり前のことだと言われそうですが、それはCOVID-19禍によって実感をもって認識させられたからではないでしょうか。「自分の感染症は、自分だけでは終わらない」ことを忘れてはならないと思います。

もうひとつ学んだことは、病原体を伝播しないための「手指衛生」の重要性でしょう。COVID-19禍から、「手洗い・手指消毒」の啓発が行われました。ということは手指衛生ということは日常的な行為ではなかったことを表します。英国の外科医リスターが19世紀のなかばに考案した、外科手術でのフェノール消毒によって、手術に起因する感染症で失わ

れてきた多くの人命を救ってきたことは有名な事実で、それ以後、滅菌・消毒は医療現場に急速に広まりました。しかし、「滅菌・消毒」の意義を考えることなく、漫然と行っていることで落とし穴に人類ははまり込みました。それは、リスターによって確立された「手洗い・消毒」の意義を忘れた時代のことです。その時代とは、MRSAによる院内感染の蔓延の時代（20世紀の終わりごろ）です。絶版になったことは惜しいことですが、もし機会があれば、富家恵海子著『院内感染』（河出書房）をお読みください。感染症とは全く無関係の疾患の手術を受け、それが成功したにも関わらず、ご主人を失われた悔しさと医療への警告が書かれています。COVID-19禍で学んだ「手指衛生」は今後も忘れてはならないことでしょう。

まだまだ学ぶべきことは多いのですが、COVID-19の伝播は「原因ウイルスを含んだマイクロミスト」によることが主因であることは間違いありません。空気感染や飛沫感染の定義が見直され、「マイクロミスト」に関する感染経路がなんらかの名称で加えられるでしょう。「手指衛生」も含めて、マイクロミストの発生が起こらぬよう、また吸い込むことのないように努めることが基本となります。

「明けぬ夜はない」とは、古くから言われる言葉ですが、感染症と戦い、克服してきた人類の長い歴史から考えても、COVID-19を必ず克服できると言っても過言ではないでしょう。ご紹介したい本が2冊あります。長崎大学・熱帯医学研究所教授の山本太郎氏が書かれた『感染症と文明』（岩波新書）と秦郁彦著『病気の日本近代史』（文藝春秋）です。前者は世界史的なレベルで感染症を科学的に捉えるには好適ですし、後者は書名から分かって頂けると思いますが、感染症を含めた疾患の近代の日本史です。折角、感染症を身近に考えねばならないときなのですから、これらの本から感染症をどう捉えるべきかを学ぶことも良い機会ではないでしょうか。

いま必要なことは悲観的になるよりも、「いまできること、すべきこと」によって身を守ることですし、「こんなときだからできる」ことを見つけることは前向きな行動ではないでしょうか。自分の行動で新しいことを経験することに至れば、COVID-19禍も、きっと将来に役立つ経験となるでしょう。皆さんのそんな行動が起こることを期待して、新年の挨拶にさせて頂きます。

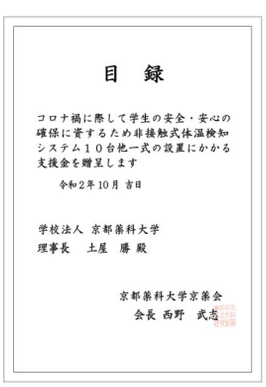
NEWS 京薬会様からの寄付金の贈呈

庶務課

京薬会様から、毎年度、本学学生の奨学を目的として、多額の寄付金を頂戴していますが、今年度は、新型コロナウイルス対策のための非接触型体温検知システムの設置に伴う支援金として、金3,000千円のご寄付を頂戴しました。

なお、2020年10月23日（金）に、京薬会の西野会長から土屋理事長に対し、寄付金の贈呈が行われました。

贈呈式の様子
（左から）西野会長、土屋理事長



目　録

コロナ禍に際して学生の安全・安心の確保に資するため非接触式体温検知システム１０台他一式の設置にかかる支援金を贈呈します

令和2年10月 吉日

学校法人 京都薬科大学
理事長　土屋 勝 殿

京都薬科大学京薬会
会長 西野 武志

NEWS 京 薬 会 だ よ り

京薬会ではコロナ禍の収束が見えないなかで万全のコロナ対策のもとに大学講義が一部再開されることから、令和2年10月23日に学生の安全・安心の確保に資するようにと非接触式体温検知システム10台他一式の設置に係る支援金300万円を西野会長から土屋理事長へ寄贈しました。

実習室前に設置された
非接触式体温検知システム
（サーモカメラ）

2020年2月以降の進路支援の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するといった観点から、本学の学生に対する進路支援の進め方が従来の対面型から本年2月よりオンライン型へと大きく変化してきました。

以下、本学の進路支援の取り組みを1）2〜3月、2）4〜8月、3）9月〜現在まで、と3つに分けてご紹介させていただきます。

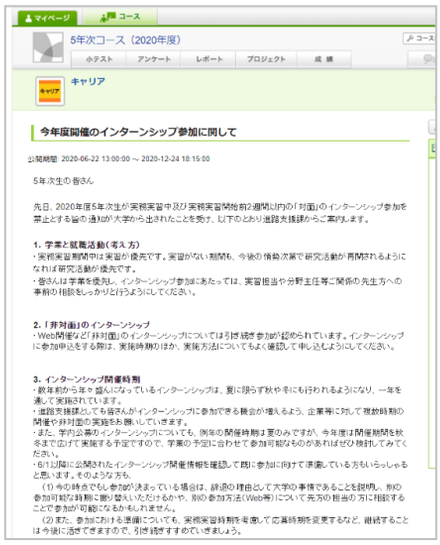
進路支援課長

Feature article.

1. 2〜3月

2020年2月頃から社会の様々な方面に影響が拡大し始めた新型コロナウイルスの感染問題により、当時5年次生だった学生の就職活動は、採用選考の面接がオンラインになったり、対面型の合同説明会や病院見学が中止になったり、あるいは病院では募集の見通しが立てづらい時期があるなど、大きな影響を受けました。また、3月から大学の入構制限が始まり、就職活動本番を迎えた学生にとっては例年のようにキャンパス内や研究室で同級生同士が就職活動の相談をしたり、進路支援課で対面による個人面談（添削や面接練習、相談）を利用することができなくなりました。

そこで進路支援課では、メールによるES（エントリーシート）などの添削の受付と返信や、Webを活用したオンライン面談を開始し、また、就職活動に必要な証明書の発行や履歴書の代理購入とそれらの郵送を3月から実施してきました。また、4月以降、6年次生のほか4、5年次生に対して進路支援課からのメッセージを学内ポータルサイトmanabaを通じて発信しました。



manaba掲示板

2. 4〜8月

他方、4月以降2020年度5年次生向けに多く用意されていたキャリア支援プログラムは休校措置や入構制限を受けて対面による実施ができなくなる中、動画配信による提供を4月下旬から順次進めていきました。夏が近づく頃には、止まらない新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、当初予定されていた実務実習の時期が変更されたことを受けて、実務実習参加前2週間の対面型インターンシップへの参加自粛を大学から5年次生に要請することとなり、予定していたインターンシップに参加できなくなるなど、5年次生の就職活動の準備に大きな影響が出始めました。

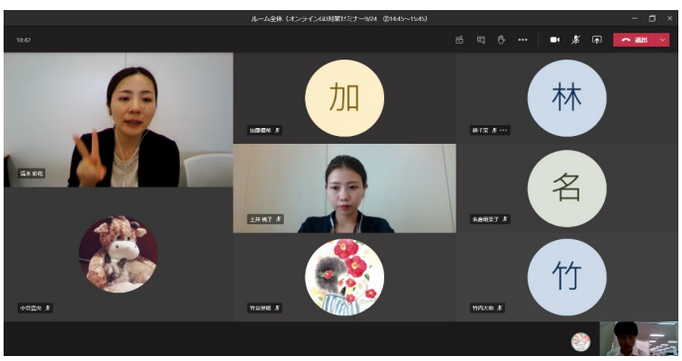
こうしたことから進路支援課では、近畿地区の6年制薬学部の5年次生がインターンシップに臨みづらくなっている実情や、3月1日以降の本選考へのエントリーに対して不安を抱える学生がいること等について大学として情報発信をおこなう一方で、複数の大手就職情報サイト運営会社を通じて大手製薬企業等のインターンシップ実施動向に関する情報収集を行ってきました。

また、5年次生に対しては、例年どおり一人あたり20分の時間を取って1対1でおこなう進路希望ヒアリングにおいて学生一人ひとりから進路についての相談を受けたり、就職活動の準備や本選考に向けて今から取り組める対策等についてお伝えしたり、一緒に考えたり、秋以降のキャリア支援プログラムへの反映を試みてきました。

3. 9月～

秋以降は、新たな試みの一つとして9月にグループディスカッション対策をオンラインで行ったほか、秋から冬にかけて開催を予定していたプログラムを前倒ししました。開催方法をオンライン（LIVE）とし、開始時間については18:00とするなど実務実習中の学生でもなるべく参加しやすくなるように進めています。また、それぞれのプログラムの内容は、昨年度実施結果や昨年度5年次生（2020年度6年次生）が経験した就職活動の全体的な傾向、足許の社会情勢、あるいは各業界の動向等を踏まえ、「いま、学生の皆さんにとって必要なものは何か」について進路支援部内で協議を重ねています。

今年度の後半も、第三波が到来して新型コロナウイルス感染拡大に関しては先の見通しにくい状況が続いていくと思われますが、学生の皆さんが置かれている厳しい状況の中で引き続き大学としてできる情報収集と情報発信、求められる支援の提供・実現に努めていきます。



オンライングループディスカッション
対策セミナー（9月開催）

企業志望者のための
オンラインパネルディスカッション（11月開催）

＜卒業生・在学生交流会（オンラインLIVE）の開催報告＞

2020年11月8日（日）に「卒業生・在学生交流会（オンラインLIVE）」を開催しました。本プログラムは、在学生の職種理解を深めること、そして卒業生の方々には母校との関わりを持っていただくことを目的とし、2014年度から開講し、今年度が6回目の開催となります。

例年、夏季に開催し、卒業生の皆様を大学にお招きしていましたが、今回はWeb会議ツールを用いたオンラインLIVE形式で実施しました。Web会議ツールは、昨今の働き方改革や新型コロナウイルス感染症対策により、遠隔会議、学校の遠隔授業、テレワーク等で急速に普及しています。この度の交流会も、新型コロナウイルス禍における感染予防を最優先事項として開催形式を模索した結果、本形式を採用することとなりました。

開催方式としては、時間割を3つのセッション（各70分）に分け、それぞれの時間にWeb上のルーム（部屋）を4つ設けます。卒業生には、職種ごとに入室するルームを分かれていただき、在学生は、話を聞きたい職種のルームを選んで入室します。各ルームでは、卒業生の仕事内容紹介や、在学生からの質疑応答など、座談会形式の交流を行います。1日のうち、最大3つの職種の話を聞く事ができるように配慮しました。

卒業生・在学生交流会（オンラインLIVE） 時間割

	ルーム1	ルーム2	ルーム3	ルーム4
10:20～10:30	オープニング			
AM（10:50～12:00）	製薬企業（MR）	その他企業	病院	薬局
12:00～13:00	昼休み			
PM①（13:00～14:10）	製薬企業（開発）	製薬企業（その他の職種）	病院	ドラッグストア
PM②（14:30～15:40）	製薬企業（MR）	CRO・開発	研究職	公務員
15:45～15:55	エンディング			
16:00～16:30	卒業生交流会			

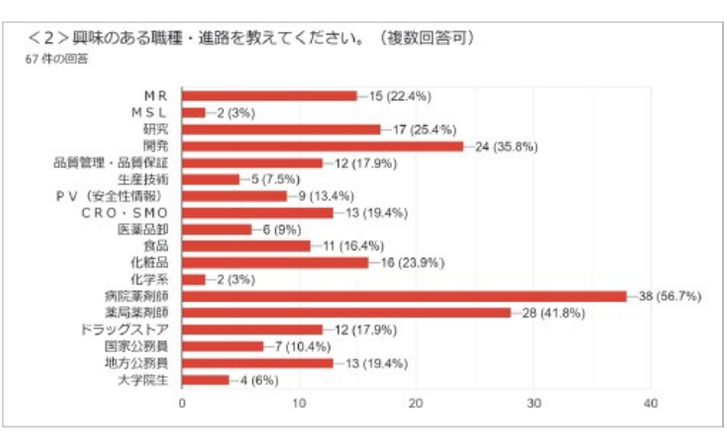
初めての開催形式であったので、準備・運営等いつもと違う形式・日程となりましたが、参加人数としては卒後2～9年目の卒業生31名、在学生180名と、過去にない多数の参加を得て、大変盛況に会を終えることができました。

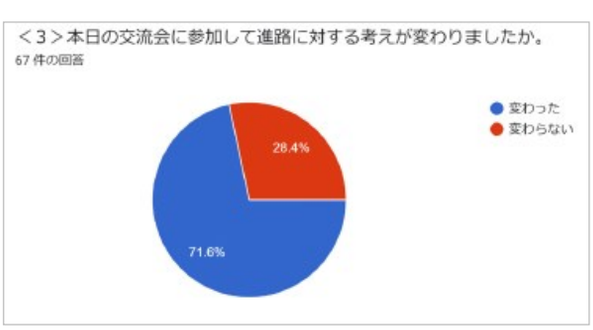
イベント名	京都薬科大学　卒業生・在校生交流会		
開催形式	オンライン＜LIVE＞形式 ※学生は自宅などから参加視聴		
開催日時	2020 年 11 月 8 日（日）		
参加卒業生数	31名 （内、6名は2回参加）		
参加在学生数（のべ人数）	417名（延べ） ※1セッションの参加人数を 1名とカウントした合計の人数です		
	学年内訳	5年次生	143名
		4年次生	202名
		3年次生	19名
		2年次生	21名
		1年次生	29名
		不明	3名
予約在学生数	180 名		
	学年内訳	6年次生	1名
		5年次生	76名
		4年次生	74名
		3年次生	9名
		2年次生	7名
		1年次生	13名

例年、進路支援は4～5年次生を対象に開催していましたが、オンライン開催ということで全学年を対象にしたため、今回は1～6年次生の全学年から参加がありました。特に4年次生の参加者が多く、将来の進路選択に関わる意識の高さが感じられました。事後のアンケートでは7割強の人が進路に対する考えの変化があったと回答しており、卒業生の皆様の「生の声」が、学生の視野を広げることにつながったようです。「卒業生の方がキラキラしていた」「先輩たちがこんな所（職種）でも活躍されていると知れてわくわくした」など、少なからず刺激を受け、有意義な機会となったとの感想が多くありました。卒業生の皆様からも「他業種の方の話や同窓生の活躍を聞けて良かった」「モチベーションの向上につながった」など、好評の声をいただきました。

オンライン形式に関する参加者の感想としては、卒業生からは、遠方からでも参加できる、自宅から参加できるなどの利点が挙げられ、在学生からは、気軽に参加できる、遠方の先輩方とも触れ合うことができる等、好意的な声が多く聞かれました。一方で、参加者の反応やリアクションが分かりにくい、といったオンラインならではのコミュニケーションの難しさも垣間見られました。とはいえ、今後の開催を期待する声が卒業生・在学生双方から寄せられ、ポストコロナ時代における新たな交流の在り方を示すものとなりました。

最後になりましたが、事前のご案内等に行き届かない点があったにもかかわらずご参加いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。





【寄稿】学内ジョブ　新入生支援活動報告

Report.

■ 3年次生　儀間（ぎま）　芹菜（せりな）

学内ジョブとして私たちが行ってきた新入生支援活動について、皆さんに知っていただきたく、これまでの活動内容や、今後のことについて紹介させていただきます。

当初は一人暮らし新入生のためのコミュニティ作りを主な目的として発足した学内ジョブでしたが、新型コロナウイルス感染症による全学生への影響を踏まえ、対象を新入生全員に拡大し、オンラインで活動を行ってきました。第1弾では「学習面」・「生活面」・「課外活動」・「友だちづくり」の4項目に関して、私たち上級年次生からのアドバイスやメッセージの作成、新入生からの質問受付・回答作成をし、manabaへの掲載を行いました。新入生からは「日々の勉強を頑張りたいと思いました」、「不安に思うことが多くあったので、先輩方のメッセージが見られてとても参考になりました！」など多くの反応をいただきました。

第2弾では、新入生のためのオンラインコミュニティづくりとして、Microsoft Teamsを活用したオンライントーク会を開催しました。第2弾からは数名の新入生にも学内ジョブの一員として企画運営に携わっていただきました。講義や部活、アルバイト、趣味などについて、少人数でフリーにお話をする会として開催し、こちらも「はじめは緊張しましたが今度は実際に会って話したいと思えるほど楽しめました」「企画してくださった方々がとてもフレンドリーで話しやすかったです。次回も参加したいです」など好意的な感想をいただきました。

私は約3年前、沖縄から初めての一人暮らしで出てきて、見知らぬ土地で友達もゼロからのスタートで、6年間やっていけるのか大学生活に漠然とした不安を抱えていました。入学当時は慣れない環境でよく体調を崩していた経験もあります。そのため、入学時に同年次生や先輩方との交流、困った時に頼ることのできる環境など、より安心して大学生活をスタートできるような支援があったらなという思いがありました。今年度の新入生は更に、例年と全く異なる状況で多くの不安を抱えていたと思います。私たちの支援活動によって、そんな不安を少しでも和らげることができればとても嬉しく思います。今後の大学生活においても困った時は先輩や友人を頼りながら、充実した実りある大学生活を送ってほしいと思います。

現在、新入生のためのオンラインコミュニティづくりの発展として、上級年次生を巻き込んだコミュニティづくりも計画しています。みなさんの中にはクラスや部活動以外では学生同士の関わり合いが無い、友達が固定化していて新たに増えない、先輩との繋がりが少ないという方も多いのではないでしょうか？出身地や趣味、一人暮らしなど何らかの共通点をもった学生同士がクラスや部活動といった枠を超えて、気軽に交流・情報交換ができるコミュニティ作りを私たちは目指しています。次の新入生へのサポート、コミュニティ化、イベント企画などに興味のある方はぜひ私たちと一緒に活動しませんか？興味のある方は、イベント参加時や、事務局学生課、SNSを通じて私たちメンバーまでご連絡ください！お待ちしております！

オンライントーク会の様子
（筆者：下段左）

NEWS 人事

再任用

共同利用機器センター　准教授　長谷川功紀
（任期：2020年10月1日～2025年9月30日）

退職

事務局施設課　係長　平　薫
（2020年8月31日付）

薬用植物園　契約職員　鈴木　章友
（2020年9月30日契約期間満了）

2019年度 授業評価集計結果の報告

Report.

授業評価委員会

本学では、授業の改善を目的とした学生による授業評価をセメスター毎に実施しています。授業評価の方法として、2002年度から「授業アンケート」を行い、2009年度以降、全学生を対象に実施しています。2018年度からはアンケートの回答方法を専用用紙への記入からmanaba上での記入に変更しました。評価対象となる教員は専任教員及び非常勤講師です。

本アンケートの集計結果を受けて、学生の意見に対するフィードバックのために「リフレクション・ペーパー」を作成しています。全教員のリフレクション・ペーパーは冊子体にして図書館で公開し、閲覧ができるようにしています。これにより、今後の授業改善が積極的に進み、教員及び学生にとって有意義な授業が実施されることを期待します。

2019年度授業評価の集計結果と解析結果の概要を以下の通り報告します。

■「学生自身の授業で学ぶ態度」と、「教員の授業に関する項目」について別々に評価をしてもらいました。

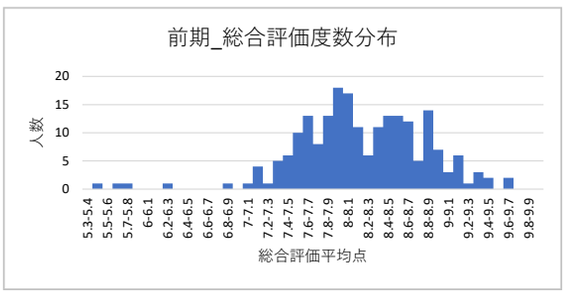
◇「学生自身の授業で学ぶ態度」について

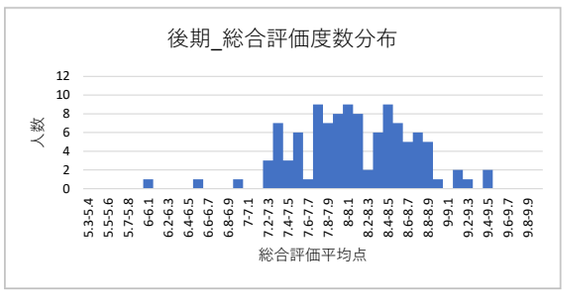
	設問	前期評価	後期評価
Q1	予習・復習などの授業外学習を十分に行い、この授業に対して意欲的に取り組んだ。	3.88	3.93
Q2	授業の到達目標を達成できた。	3.99	4.00
Q3	授業で学んだことを、他の授業の内容（今までに学んできたこと、他の科目など）と関連付けながら理解することができた。	4.06	4.02
Q4	授業で学んだことで興味・関心が高まり、これからもより深く学びたいと思った。	4.12	4.10

（5段階評価）

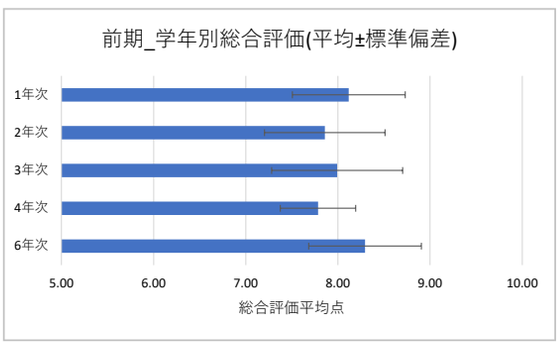
◇教員の授業に関する項目

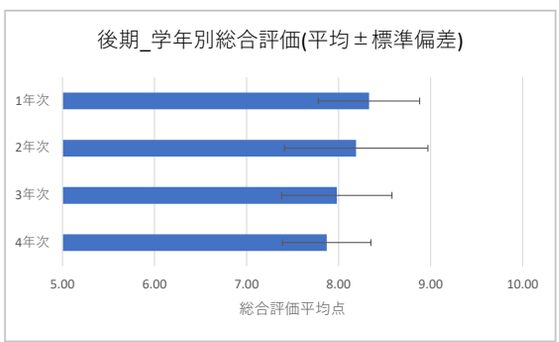
1）科目・教員別総合評価の分布



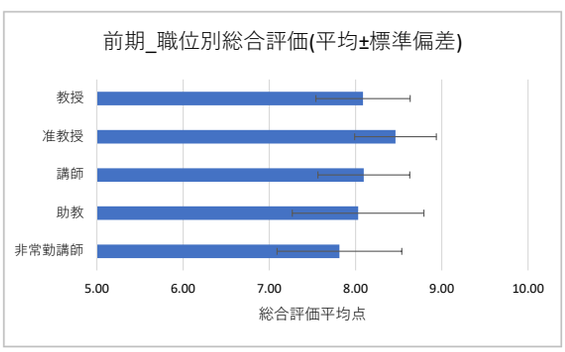


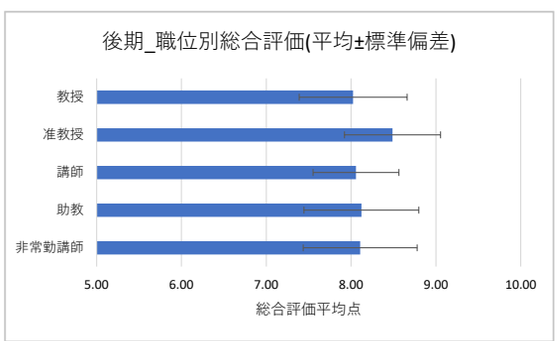
2）学年別の総合評価平均点



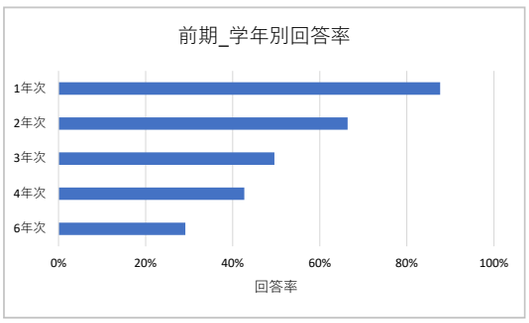


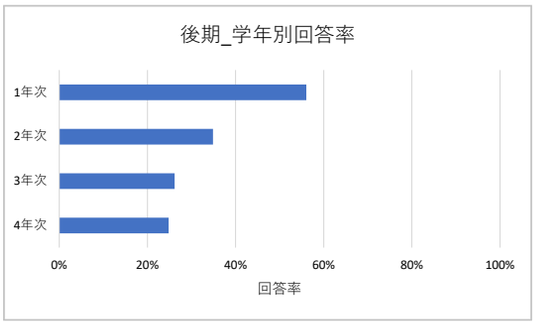
3）職位別の総合評価平均点





4）学年別のアンケート回答率





■まとめ

最後に、授業アンケートに協力頂いた学生諸君に感謝しますとともに、今後の授業改善のために、アンケート回答率の更なる向上を目指したいと思います。授業アンケートは今後も継続して実施しますので、回答へのご協力をお願いします。

また、評価対象となった教員におかれましては、アンケート結果を参考にされ、更なる授業改善に役立てていただければ幸いです。

私の薦める、私の一冊 Column

一般教育分野　講師　岸野 亮示

『翻訳夜話』　村上春樹・柴田元幸
文藝春秋

本書は、アメリカ文学研究者の柴田元幸が、作家の村上春樹とともに開催した翻訳に関する2度のワークショップの模様を主な内容としている。数多くの文学作品の翻訳をてがけてきた両氏の翻訳に対する考え方や具体的な作法が、二人の掛け合いや参加者との質疑応答を通じて、平易な言葉で説かれている。また本書には、両氏が別々にてがけたポール・オースター作「オーギー・レンのクリスマスストーリー」の和訳とその原文も収録されており、両氏の翻訳の違いを目の当たりにすることができるようにもなっている。

私がこの書を初めて手にしたのは、博士課程に進学した頃であった。当時、私は著名な研究者の論文の翻訳を日課としていた。というのも、研究の進め方や論文の書き方がイマイチよく分からずにいた私に、複数の教員が「研究が思うように進まないときは、欧米の言語で書かれた優れた論文を翻訳するといいですよ」と助言を授けてくれたからである。半信半疑ながら彼らの言葉に従い翻訳を進める私が、既に定評のあった本書を買い求めたのは、至極当然のことであった。

本書の中で、村上氏は「日本語にしたら違和感を感じると思ったら、翻訳者は自分の判断で変えていいんじゃないかと、僕は考えています」と明言しているが、この一節は、論文翻訳を進める私をハッとさせるものであった。論者の示す論理や論拠も、自分自身が理解できるような平易で簡潔な言葉に言い換えられてこそ、むしろ正確になぞられたことになるということ、そしてそれこそが論文翻訳の最大の意義の一つであることに気付かされた気がしたからである（以来、私は論文翻訳を重要なトレーニングの一つと捉えるようになり、現在も積極的におこなっている）。

学問の世界では、分野を問わず、欧米の言語で書かれた論文の解読、そこから得られた情報の提示が必須であることは言うまでもない。その意味において、外国語で書かれたものを充分に咀嚼し、それを適切な母国語に置き換えて伝える達人のコツを示す本書は、アカデミアン必携の一冊と言えるかもしれない。

「私の薦める、私の一冊」番外編　～教務課の窓口から～

Report

教務課　近藤利彦

「私の薦める、私の一冊」というコラムの執筆を依頼されたのですが、何か一つを選ぶことが苦手なので、少し違った形で書かせていただきます。

さて、私に原稿の依頼があったのは、担当者が困ったからだと思うのですが、お薦めの本を紹介するという企画が連綿とつづいているというのは、本を読むということに何か意味があってのことだと思います。

本を読む効能とは何でしょうか？いろいろ考えられますが、一つには教養が身につく、深まるということが一般に認識されていることではないでしょうか。私も窓口で「人と文化」の履修に関して相談を受けることがあり、「将来患者さんと接するのに教養が大事ですよ」なんてことを話しておりましたが、実はいまいちわかっていませんでした。すみません。

ただ、クイズ番組ですらすら答える、飲み会（いまはできませんが）で蘊蓄を披歴するためだけのものではないでしょう。

最近読んだ本が結びついて、教養とは引用できるもの・ことを増やすことではないかと、ふと思いつきました。ひきだしという言い方もできるかもしれません。

引用といえば、ヴァルター・ベンヤミンが引用だけで批評を試みたという話を読んだことがあります。批評の対象からどんな言葉（や考え）を引くかにもその人らしさが現れると考えられることから、成立することなのかもしれません。ということは、本を読むことで蓄積された何かは、その人らしさを表わすことになるでしょうし、たくさん蓄積されたほうが、豊かに表わされるでしょう。

また、ひきだしを増やしておくことは何かの理解の手助けになるかもしれません。未知の事象に出会ったとき、既知の枠組みを利用して理解しようとする働きがあります。シェマやスキーマといわれる働きです。また、ひとには「納得」という感情（納得って感情なんですね！）があります。納得できないと次に進めない、進めたとしてももやもやしてスムーズにいかないということを経験したことはないでしょうか。さきほどのスキーマと同じように、ひとは自分の持っている物語に沿って、ものごとを理解するそうです。理解・納得するためにはたくさんの物語や枠組み（＝教養）をもっていた方が、生きていくために便利かもしれません。

これまでの話とは別に、全く新しい考えに出会うことも本を読むことの効用でしょう。私が最近こころに残ったのは「養生」と「健康」という概念は異なるという話です。健康を第一に考えると悪いとされることも、「生を養う」という意味では良いこともあるとされます。河合隼雄さんは、飲酒を例に挙げていました。

みなさんは大学という教育機関に来ています。学ぶということに多少なりとも興味を持っているのではないでしょうか？ということは、教養を身につけたり、深めることはご自分の生を養うことになるかもしれません。

また、将来は他人の生を養うお手伝いをする仕事に就く方が多いと思います。その際にもやはりご自分のなかにある教養は役に立つでしょう。

というわけで、この文章を書くにあたって、念頭にあった本を最後に挙げてこの拙文を終えたいと思います。なお、わたしは研究者ではなく「本を読む人」なので、書いてあることは、学問上必ずしも正確ではないことをお断りしておきます。

○内田樹　「子どもはわかってくれない」（文春文庫）2006

○柿木伸之　「ヴァルター・ベンヤミン：闇を歩く批評」（岩波新書）2019

○河合隼雄　河合隼雄セレクション「より道、わき道、散歩道」（創元こころ文庫）2015

○千野帽子　「人はなぜ物語を求めるのか」（ちくまプリマー新書）2017

（著者名の50音順、**太字**は本学図書館収蔵）

NEWS お知らせ

庶務課

■ 受賞

長年にわたる教育研究のご功績により、本学名誉教授北村桂介氏が瑞宝小綬章を、本学名誉教授（元学長）西野武志氏が瑞宝中綬章をそれぞれ受章されました。

皆様とともに叙勲の栄誉を心からお祝い申し上げます。

令和2年春の叙勲

瑞宝小綬章　名誉教授　北村 桂介 氏

令和2年秋の叙勲

瑞宝中綬章　名誉教授（元学長）　西野 武志 氏

がん征圧・患者支援 チャリティーイベント

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2020京都」を開催 *Event.*

実行委員長　病態生理学分野　若林亮介

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2020京都（主催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン京都実行委員会、公益財団法人 日本対がん協会）が、オンラインWeb会議システムZOOMにて開催されました。本イベントは、がん患者さんやご家族のための、がん征圧チャリティーイベントです。

今年は新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、京都薬科大学で開催する本来のイベントは断念せざるを得なくなりました。その為オンラインでのイベントを企画し、語りのコーナーや、事前に京都薬科大学の中庭で撮影した動画を使ったルミナリエセレモニーを実施しました。語りの場では特にテーマを決めず自由に話したい事、サバイバーさんに聞きたいことなどを語り合いました。オンラインイベントならではの温かい雰囲気がそこにはあり、有意義な時間を参加者の皆様で共有することが出来ました。

昨年の様子

開催期間：2020年10月10日(土)17：00 ～ 11日(日)00：00

2020年度　防災（避難）訓練を実施しました *Event.*

施設課

2020年度の本校地防災訓練を10月12日に実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模を縮小しての開催となりました。例年実施している避難訓練は中止し、山科消防署様の協力のもと、自衛消防隊地区隊初期消火班を対象とした消火訓練と通報連絡班による119番通報訓練を行いました。

今回は教職員のみの対象となったため、本記事により訓練のことを知った学生もおられるかと思います。

火災を想定した119番通報訓練の様子

屋内消火栓による消火訓練の様子

消火器による消火訓練の様子

活動が制限された中であっても、大学の安全性を高めるために感染リスクをできるだけ抑えた形で実施しました。このような訓練を受けることで初期消火の意識や技能が高まりますが、火が大きくなってしまった場合は対応が困難となります。山科消防署様からの講評にもありましたが、最も重要なことは安全に避難することになります。

この記事を見られた皆さんは日常生活の中で研究室や講義室・実習室、実習先の施設等において、安全な避難経路の確認を行い、自身や周囲の方の身を守れるようにしていただきたいと思います。

図 書 館

教育後援会寄贈図書を展示中です。

今年度も教育後援会より図書をご寄贈いただきました。学生の皆さんのアンケート結果をもとに選定された160冊には、専門的な図書だけでなく、新型コロナウイルス感染症をテーマにした図書や話題の新書、2020年本屋大賞を受賞した凪良ゆうの小説「流浪の月」や中国の人気SF長編「三体」、ドラマ化され、注目を浴びた薬剤師が主役のコミック「アンサング・シンデレラ」など多岐にわたっています。

このコーナーに並ぶ図書は皆さんの友人や先輩たちが「みんなに読んでもらいたい！」とオススメした1冊です。全資料リストは図書館ホームページの「資料案内」にて公開していますので、学習の合間の気分転換やリフレッシュに、ぜひお気に入りの1冊を見つけてください。図書を借りても、次の来校日まで間が空いてしまうから返却できない…そんな不安がある方にも、個別に対応しています。図書館利用に関する相談などもカウンターへお気軽にお声がけください。

教育後援会寄贈図書コーナー

【寄稿】大学の顔-図書館と、愛学館エントランス銘板のこと

Report.

参事（図書館担当）　松田 敏

学生のみなさん、特に今年度入学されたみなさんに、少しお話しさせてください。

はじめに、「大学の顔」という言葉があります。サイトを開くと、その大学の顔が図書館である、ということがいくつかの大学で語られています。東京学芸大学は、「大学の顔としての図書館」として、「開かれた都市型総合大学の中枢機能を担うのが学術情報総合センター」と言います。京都府立大学は、「大学の顔、図書館！」として、「海外の大学に行くと、その大学の図書館に案内される」と。名古屋大学は、「大学の顔としての図書館の蔵書整備」として、「研究教育の施設であるとともに、世界に誇りうる名古屋大学の顔としての特色を整備し充実していかなければならない」と語っています。

京都薬科大学図書館は、満10歳（2010年竣工）です。先見性のある外光を大いに採り入れる空間。多数のキャレルデスクが並ぶすぐれた閲覧環境。資料も、書籍、電子媒体共に充実した施設と言われています。「大学を観に行くのなら必ず大学の顔－図書館に行きなさいと言われてきました」「見たがっていた父が今日は仕事で来られません。見せたいので館内撮影してもいいですか？」「静か。落ち着いた環境。ここで勉強したい」「他をもって語れない完成された先進性がある」これらは、オープンキャンパスで訪れる高校生や保護者の方々から寄せられた声。図書館は大学の顔の役割を果たしてきていると思います。

その図書館の中で、特長ある施設としてご紹介したいのが、別掲『教育後援会寄贈図書を展示中です』でも写真紹介されているブラウジングコーナーです。こちらの書架は、調度としても格が高くて品があり、利用の上でも新刊書を次々と手に取ってよりすぐることができる秀でた機能を備えています。このコーナーは、学生のみなさんの保護者であって多くの場合は学費を負担くださっている父母の方々による京都薬科大学教育後援会から寄贈頂いたものです。たいへん貴重なこの設備には、保護者のみなさまからの、「我が子」に限らず、京都薬科大学に学ぶ学生の学業に対する深い思いがあふれていることを感じます。

次に、こちらの書架と併せて、学生への深い思い、Donationの考えに関わって、もう一つ紹介したいものがあります。それは、個人や団体の方々が、やはり京都薬科大学に学ぶ学生のみなさんを思って、高額の寄附をくださったことを証す銘板です。それは、正面から愛学館エントランスに入ると、右手の柱に「高額寄附者顕彰銘板」として掲示されています。並ぶお名前の多くは、本学を卒業された先輩の方々です。大学が頂戴したご寄附は、学生のみなさんの奨学支援、学生生活支援などの事業のために役立てられています。

私は、学生のみなさんが、ここにご紹介した図書館のブラウジングコーナー書架をしばしば訪れてくださって、新刊書などにふれてほしく思います。また是非、銘板を眺める機会をつくり、どんな名前の方々が京都薬科大学生を支えてくださっているかを、一度は読み込んでくださったらと願います。

NEWS お知らせ

学生課

京都薬科大学教育後援会より、全学部生へ「USBヘッドセット」の支援品を贈呈いただきました。

この度、京都薬科大学教育後援会より、COVID-19禍中、大きく変化した学習環境に対して、本学学部生全員に、「USBヘッドセット」を贈呈頂きました（各学生自宅へ郵送）。

COVID-19をきっかけに、新たな学習スタイルが確立していく中で、Webを介した双方向の対話は、使用するイヤホン・マイクによって話し手側だけでなく聞き手側においても、快適性に大きな差が生じます。今回の寄贈については、今後の社会変化の状況を鑑み、新たな学習スタイルの後押しとなってほしい、という願いが込められております。

学生の皆さんは、ぜひ今後の学習においてご活用ください。

卒業生からのメッセージ Column.

アンサング…ヒーロー

団迫（だんざこ）　湊（みなと）

2017年　学部卒業
（薬品分析学分野）

岡山大学病院
薬剤部　製剤室

石原さとみさんがドラマ版の主役に抜擢され話題となった「アンサング・シンデレラ」。「アンサング（称賛されない）」という言葉は、なんと病院薬剤師のことを上手く表現した言葉だろうと感心しました。その一言に、私が今まで病院薬剤師として現場で経験してきた多くの葛藤や喜びが凝縮されているように感じました。

私が勤務している“大学病院”には、「診療」「教育」「研究」の3つの社会的な責務があり、地域の病院とは少々性質が異なります。中でも「研究」は特徴的で、細胞を扱うような基礎研究からカルテ調査による疫学研究まで、多くの職員がそれぞれの分野で日々研究に励んでいます。研究により創出されたエビデンスを広く社会に発信し、医療の発展に寄与する･･･体力は必要ですが、とてもやりがいのある仕事です。

さて、話題は変わりますが、私は現在、がん化学療法の専門部署に勤務しています。皆さんは、がんの患者さんにどのようなイメージを持っていますか。抗がん剤治療を受けている患者さんに、薬剤師として貢献できることは何でしょうか。

抗がん剤治療においては、副作用マネジメントが薬剤師の活躍しやすい分野です。患者さんとのやり取りの中から副作用の兆候に気付き、原因を模索し、対策を提案する。非常にシンプルなプロセスですが、これを卒なくこなすには経験と知識が必要です。そして、患者の抱えるプロブレムを解決するにあたり、研究という手段が役に立つことがしばしばあります。

…ここまで病院薬剤師についてたくさん書きましたが、実際に進路を選択する時には、自分の心がワクワクするものを選べばよいと思います。多少の失敗をしても、人生ジ・エンドになることは少ないです。何事もトライ＆エラーの精神でチャレンジすれば、素敵な人生の選択肢に出会えるはずです。そして、もし病院薬剤師を目指す決意をされている方がいましたら、いつかサング（称賛）される日を夢見て、医療の最前線で共に頑張りましょう！

NEWS 教育後援会からのお知らせ

京都薬科大学教育後援会事務局（学生課）

例年10月上旬に実施しておりました、2020年度の教育後援会総会については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集会形式での開催を中止し、書面による開催といたしました。

書面議決にご協力をいただきました会員の皆様にこの場をお借りし、御礼申し上げます。議決結果については、本学公式Webサイトに掲載しておりますので右記QRコードよりご確認ください。

第3号から第5号議案で承認頂きました通り、2020年度の教育後援会は、新会長に岡本様、新副会長へ清水様、新会計に川北様にご就任いただき、新体制の中、より良い学生の支援について検討を進めて参ります。2020年度新事業の今後の展開として、COVID-19禍における学生支援策として、オンデマンド講義・リモートでのディスカッションなどに活用できる『ヘッドセット』を全学生に贈呈いたします（11月末～12月上旬に郵送）。

また、2021年1月以降で、保証人の皆様へ大学の近況情報をお伝えする『メールマガジン』の発刊も予定しております。

今後とも、会員の皆様のご意見をいただきながら、学生の活動支援に尽力する所存でございますので、引き続き本会へのご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2020年度教育後援会予算（一般会計）

項　目		予算額	使　途
学生生活支援事業		1,559,000	学生教育研究災害傷害保険料補助
		200,000	保険適用外初診料補助（上記保険適用外の初回治療費を補助）
		1,000,000	学生補助金
		150,000	弔慰金
		1,600,000	課外講座受講料補助（学内で開講する課外講座の受講料の一部を補助）
		200,000	図書館へ学生用図書の寄贈
		600,000	卒業祝賀会への協賛
		1,047,000	卒業記念品の贈呈
		129,360	新入生啓発支援
		7,000,000	新型コロナウイルス感染症対策に伴う学生への支援
	小　計	13,485,360	
父母対象事業		1,000,000	会合費・事務費・郵送料
		1,000,000	学内広報誌KPUNEWS郵送料
		400,000	父母向け大学情報発信サービス
	小　計	2,400,000	
教育研究支援事業		940,000	分子模型の贈呈（2021年度新入生対象）
		1,900,000	参考書「治療薬マニュアル」の贈呈（4年次生対象）
		1,450,000	長期実務実習に向けた追加ワクチン接種代
		900,000	白衣授与（新5年次生対象）
	小計	5,190,000	
予備費		200,000	
積立金		1,000,000	将来の各種事業に向けた積立金
支出合計		22,275,360	

■教育後援会会長の就任にあたりまして

2020年度教育後援会会長

岡本 光弘

平素は教育後援会の活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

本年11月より、清水会長の後任として教育後援会の会長を仰せつかりました岡本です。2018年度より副会長として教育後援会活動に携わってきましたが、今年度より清水様と役割を交代することになりました。引き続き清水様におかれましては、副会長としてご協力いただけることになり、私としては心強いばかりです。さらに、四役員をお引き受けいただきました川北様、苅田様ならびに学年別幹事の皆様方、大学側幹事の職員の方々とともに、今まで同様、風通しのよい教育後援会活動を推進していきたいと考えています。

私自身も本学の卒業生（昭和61年卒）でございます。大学卒業後は、病院薬剤師、製薬会社での開発業務や産学連携業務、さらには政府（内閣官房）での医療政策等の仕事など様々な仕事を行ってきました。それらの仕事を通じて、様々な場面で、本学の卒業生の方と一緒に仕事をする機会が多々あり、随分、助けられた記憶があります。本学の卒業生のネットワークは、他の大学には真似のできないものであり、今後も大切にしていかなければなりません。一方で、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、大学関係者の方々、学生の皆さん、さらには保護者の皆様は、大変なご苦労をなされていることと存じます。入学式、卒業式をはじめ、さまざまな行事の中止、休校、WEB配信による授業、オンラインによる試験など、前例のない対応が続いております。数年かけて以前のような状態に戻れる事もあるでしょうが、私たちも頭を切り替えて、新しいことを受け入れる必要があります。すなわち、今後は、変わることを恐れず、新たな変化に挑戦し、変容を受けいれることで、さらなる発展につながるものと考えられます。

教育後援会は、「京都薬科大学の教育研究を後援し、大学と家庭の連絡を密にして学生の福祉を推進するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする。」の会則に従い、毎年、学生生活支援事業、父母対象事業及び研究教育支援事業の大きく3つの取り組みを行っております。少しでも大学側と保護者の方とのの距離が近くなるよう、また学生の方々に寄り添うことができるよう、役員全員で努力していく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■教育後援会会長の役割を終えて

2020年度教育後援会副会長　　清水 辰巳

私が、教育後援会に携わることになったきっかけは、長男が京薬に入学した2014年当時、事務局長の村澤さんに声掛けをいただいたのが始まりでした。村澤さんは、私が学生の頃学生課に勤めておられ、私たち学生たちにとって兄貴のような存在だった方です。そんなご縁で、6年間の我が子の学生生活とともに、教育後援会を通じて再び母校と関りを持たせていただくこととなりました。

私自身は、昭和63年3月の卒業生で、今は臨床研究に携わるCRO（医薬品開発業務受託機関）で働いています。新型コロナのワクチンや新薬の開発がマスコミ等で取り上げられる中、その最前線で奮闘している製薬企業、医療機関及び規制当局の方々に想いを馳せると、それらの関係者の中に薬学系出身の方々が多数頑張っておられることに気付かれると思います。もし、皆さんと直接お話しする機会があれば、コロナ禍の今だからこそ「薬学を学ぶ」ことの可能性や社会的意義をお伝えしたいと思っておりました。

今般のコロナ禍において、学生やその保護者の方々は、多くの不安を募らせたことと察します。これからの進路に不安をかかえている学生さんもいらっしゃるかもしれません。でも、いたずらに不安に振り回される必要はないと思います。「今できること」を一生懸命やることが、不安な気持ちを払拭し、今後の可能性や方向性に繋がっていくのだと自身の経験から私は確信しております。薬学を学ぶことを選ばれた皆さんは、病の克服が待ち望まれる今だからこそ、日々の課題に一生懸命取り組んで、毎日を大切に過ごしていただきたいと思います。

最後に改めての御挨拶です。

教育後援会の役員は、子どもの卒業とともに役割を終えることが通例ですが、今年から再びご縁があって三男も本学にお世話になることになりました。今期より、岡本新会長に会長の役割をお引き受けいただき、私も副会長として引き続き教育後援会の活動に携わらせていただく事といたしました。

教育後援会は、大学教育を「後援」するのが役割です。大学の先生方とは違った目線で、自立していく子供たちの姿を見守りながら、挑戦の一歩を踏みだす勇気の「後押し」（背中を押してあげること）ができれば良いな、と思っております。

今後とも是非、教育後援会へのご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

本学の学生である息子たちとともに
（筆者：右）

水中でぶつぶつ －第17話－

“こっち向いてよ”

学長　後藤 直正

ペリカン目サギ科＠大津市・真野川(201018)

スマホショップに白いロボットがあった。なにか音が聞こえたようだが興味ないので、すっと通ろうとしたら「ボクヲムシシナイデヨ」と▲「こっち向いてよ」「それは古い、ウィズコロナのニューノーマルや」「そうでしたね、心配よねぇ」「心配はええけど食べたら口先拭きや。なんか付いてるで」「ああ恥ずかしー。そや口先で思い出しましたわ。こないだ口先にあてるだけでもカンセンボウギョにええやろうと思いましてね、マスクしてみたんですわ。わたしら聞く耳は持ってますけど、引っ掛ける耳はあれしませんから、難儀してゴム紐を頭の後ろで結んで、いけたと思うたら口先が突き出てましたわ。それで口も開けられへん、おうじょしましたわ」「あほなことを。ところでマスクて、どこで手やないわ、口に入れたんや」「口には入れてませんけど、どこでなんて言えへん、サギの道は鷺、うっふん。そうと今日も落ち鮎がいっぱい。活き造り、踊り、お腹いっぱい、食べたあと口拭くのも忘れてましたわ」「ほんまよう食べた。ゲップ出るわ」「ほんとぅ、そう言うてはりますけど、しゃべりながらまだ鮎見つめてはりますやん。自分の姿見たことありますぅ、フォアグラ入りのガチョウ近しよ」「ああ映ってる姿が眼に入ってるわ。食べ過ぎはあかんのはよう分かってる。けどやめられへん、カッパえびせんや」「そやけどあんたはええわ、冬になってもずっとここにいられますやん。わたしらもうじき南の国。口先から脚の先まで伸ばして風切らんならんからスーっとしてんとあかん。そや、冬越えて夏に戻ったとき、二週間パブリックなとこあかんて言われたらどないしょ。夏までにもとに戻るやろうか。どう思わはります」「そんな難しいこと聞かんといてえな、そんなサギのことは分からん」▲邪気を屠蘇で払い、本稿でニヤッとして頂けましたなら、福きたるかも、いやきたらんはずがない、来て欲しい、福よこい

NEWS 2020年度後期試験等日程

教務課

2020年度後期の試験日程は下表のとおりです。
※スケジュールは変更になる可能性がありますので、必ず最新状況をmanabaでご確認ください。

【後期試験等日程表】

年次	試験	期間	合格発表	受験手続日
6	アドバンスト薬学 本試験	1月7日(木) 1月8日(金)	1月18日(月)～ Webによる公開	—
	アドバンスト薬学 再試験	1月28日(木) 1月29日(金)	卒業査定会[2/15(月)]後 予定※	1月18日(月)・19日(火)
4	後期試験	1月14日(木)～1月18日(月)	1月26日(火)～ Webによる公開	—
	後期再試験	2月4日(木)～2月8日(月)	2月16日(火)～ Webによる公開	1月26日(火)～1月28日(木)
	前・後期再試験Ⅱ	2月22日(月)～3月2日(火)	進級査定会[3/19(金)]後 予定※	2月16日(火)～2月17日(水)
	OSCE本試験	2020年12月13日(日)	1月18日(月)14:00～ 1月20日(水)15:00	—
	OSCE追・再試験	3月5日(金)	進級査定会[3/19(金)]後 予定※	1月18日(月)～1月20日(水)
	CBT本試験	1月19日(火)～1月22日(金)	1月29日(金)14:00～ 2月2日(火)15:00	—
	CBT追・再試験	3月3日(水)	進級査定会[3/19(金)]後 予定※	1月29日(金)～2月2日(火)
1～3	後期試験	1月18日(月)～1月26日(火)	2月10日(水)～ Webによる公開	—
	後期再試験	2月22日(月)～3月2日(火)	進級査定会[3/19(金)]後 予定※	2月10日(水)～2月12日(金)

※詳細は決まり次第manabaでお知らせいたします。

2021年度学校推薦型選抜結果 Report.

入試課

2021年度学校推薦型選抜の内、指定校制は2020年11月16日（月）に、一般公募制は11月21日（土）に実施され、12月1日（火）に合格発表が行われました。
結果は右表のとおりです。

	募集人員	志願者数	合格者数
指定校制	50名	48名	48名
一般公募制	80名	233名	83名

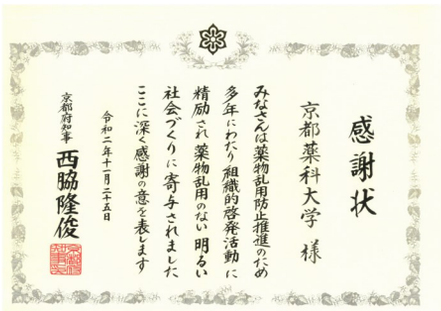
NEWS 本学の薬物乱用防止に関する取り組みが表彰されました

企画・広報課

11月25日に京都府が開催した「令和2年度薬務関係合同表彰式」において、本学の薬物乱用防止啓発活動の実績が認められ、「薬物乱用防止活動功績者知事感謝状」が授与されました。

本学では2015年より京都市が中心となって実施している薬物乱用防止啓発活動に協力、参加しています。今回、京都市からの推薦により、本学の取り組みの功績が認められ、本活動を中心的に担っている薬品分析学分野の武上教授が表彰式に出席しました。

表彰式の様子



感謝状

京都薬科大学 様

みなさんは薬物乱用防止推進のため多年にわたり組織的啓発活動に精励され薬物乱用のない明るい社会づくりに寄与されましたここに深く感謝の意を表します

令和二年十一月二十五日

京都府知事 西脇隆俊

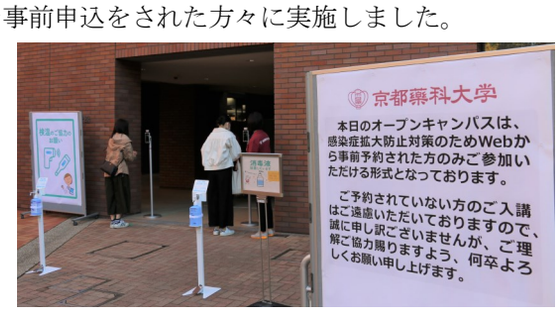
知事より授与された感謝状

2020年10月にオープンキャンパスを開催しました

Event

入試課

2020年10月25日（日）に秋のオープンキャンパスを新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ開催しました。事前予約制で定員70組の2部制で行い、243名の参加がありました。会場の創立130周年記念館では「学長メッセージ」、「大学紹介（入試広報委員長）」、「在学生の話」を行い、その後「キャンパス見学」、「相談会」を事前申込をされた方々に実施しました。



受付の様子

「在学生の話」では、6年次生の福井真優さんと竹中千里さんが講演を行い、好評でした。「キャンパス見学」では、研究室等の見学を避け、少人数のグループに分かれて図書館、中央庭園、講義室、自習室、食堂を職員が案内しました。「相談会」は、本学の教員と在学生が相談員となり行いました。教員への相談は入学試験や国家試験対策、進路、奨学金について、学生への相談は受験に向けての勉強方法や推薦入試の面接、大学生活についてなど、とても熱心に質問や相談をされる姿が印象的でした。

感染拡大防止策を講じながら開催しました

参加者からは、「学生が充実した6年間を送られていることがわかり、この大学に行きたいという気持ちが強くなった」「相談会でとても参考になる話が聞けた」「魅力的な大学であることを再確認できた」などの感想がありました。特にコロナ禍で開催したことへの感謝のお言葉を多数いただきました。

今後も参加者の方々に本学の魅力を発信するため、より一層充実したオープンキャンパスにしたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【参加者内訳】

	午前		午後	
	組	人数	組	人数
申込者	69	123	70	131
参加者（予約済み）	69	121	65	119
参加者（予約なし）	1	2	1	1
キャンセル・不参加	0	2	5	12

学生相談室だより

Column

学生課

■メンタルヘルスの維持・改善のために私たちが心掛けたいこと

収束の見通しが立たないこのCOVID-19禍では、人々は長期に渡る多様なストレスに晒されており、メンタルヘルスにも様々な影響が出てきているようです。新しい生活様式等、目に見える変化とともに、個々人の中で起きているこころの変化について意識して気にかける必要があるのではないかと感じています。

学生相談室では、9月終わりから10月初めにかけて、学生のみなさんの健康の理解と増進を目的として、心身の状態や生活状況等を調査するためのアンケートを実施しました。ここでは、その結果に基づき、私たちが今どういったことを心掛けていけばいいのかということについて考えたいと思います。

アンケートではまず、6項目の質問からなるメンタルヘルス調査を実施しました。回答者の約半数の方が気分の落ち込みや不安といった心的なストレス反応を自覚していることがわかりました。また、メンタルヘルスに関連する生活状況としてわかったこともあります。それは、「①相談できず困っている②睡眠の問題がある③誰とも話ができず寂しさや辛さを感じることがある④食事の問題がある⑤生活リズムの問題がある」の順でメンタルヘルスの状態との相関があったということです。したがって、メンタルヘルスの維持・改善のためには、「①睡眠、食事、生活リズムに気を付けること②困ったときの相談先を確保すること、③孤立しないよう誰かと話せる状態にしておくこと」が非常に重要であることがわかりました。以下、その3点について詳しくみていきます。

まず、「①睡眠、食事、生活リズムに気を付ける」です。メンタルヘルスにとってとても重要です。高校までとは異なり、大学生になると、一人暮らしとなったり、学業、アルバイト、課外活動等日々の活動量が急激に増えたりといった生活上の変化があります。それに伴い、食事が不規則になったり、夜型の生活や睡眠への影響等から生活リズムの乱れが起きやすくなったりします。それに加えて今年度は、授業形態の変化や自粛生活の継続でさらに生活リズムの乱れが懸念されます。セルフコントロールが難しい時もあるかもしれませんが、「睡眠、食事、生活リズム」についてはぜひ意識的に整えていってもらいたいところです。

次に「②困ったときの相談先を確保すること」です。人に相談するのが難しいと感じる場合があります。こころや身体が疲れ切っていると話をする気力さえ湧いてこないことがありますし、「人に頼らないことが精神的に強いこと」と思っている人にとっては、「相談する＝弱い人と思われるから相談したくない」となることもあります。「どこに相談していいかわからない、考えがまとまらず何から話していいかわからない」といった思いから相談し辛いこともあります。また、過去の相談体験でちゃんと受け止めてもらえず、むしろ軽んじられたり否定されたりする等の傷つき体験となっている場合もあります。

しかし、悩みごとや困ったことを自分の中で抱え続けていると、知らぬ間に処理しきれないほどのストレスを背負い込み不調を来しやすくなります。相談しづらい背景は人それぞれの事情があるかと思いますが、できれば誰か「この人なら話せそう」という周囲の人に思い切って話をしてみてほしいと思います。また、自分が誰かから悩みを打ち明けられたなら、時間を取って真剣に聞く姿勢を心掛けて頂きたいと思います。人は相談するとき「わかってもらえるだろうか、否定されないだろうか」と不安になりながら話をしています。その時にしっかり受け止めてもらえるだけでも少し気持ちが楽になることもあるでしょう。

そして「③孤立しないよう誰かと話せる状態にしておくこと」です。相談先の確保と重複する部分もありますが、どちらかというと普段からの何気ないやりとりができているかどうか、寂しさや孤立感がないかどうかという部分に関わってきます。対面でのコミュニケーションが制限される中、周囲の人たちがどのように過ごしているのかということを想像しながら、電話やLINE等で連絡を取り合うことができるといいでしょう。その際、普段の様子と少し違うようなら、「ごはん食べてる？」「眠れてる？」「昼夜逆転気味になったりしてない？」といった「①睡眠、食事、生活リズムに気を付ける」の部分に関することを聞くのも、様子を知るための一つの方法だと思います。

メンタルヘルスを維持するためには不調の早期発見・早期対応が大切です。自分自身のことでも、自分以外の人のことでも大丈夫です。何か心配なこと、困ったことがあればぜひ学生相談室をご利用ください。お待ちしております。

■ 学生相談室のご案内

学生生活の中で問題や悩みに出くわしたとき、独りで抱え込むのではなく気軽に相談室をご利用ください。

相談は臨床心理士が担当し、学業、進路、課外活動、将来、対人関係、性格、家族、心身の健康についてなど、事の大小に関わらず学生生活に関わる様々な悩みや問題について幅広い相談をお受けしています。学生ご本人だけでなく、保護者や教職員の方からの相談も可能です。

●相談申込み・問合せ先　学生相談室 育心館 4階

相談を希望される方は電話もしくはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から原則としてオンライン相談（電話またはTeamsの音声通話）になっておりますが、事情に応じて対面相談も可能ですので、相談方法につきましてはカウンセラーにご相談下さい。その他詳細はお問合せ下さい。

◇開室（受付）時間 ： 月～金 8：45～17：15　◇電話 ： 075-595-4672（建部）／075-595-4986（上野）

◇メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp

生涯教育センター

■2021年度生涯研修プログラム　概要

2020年9月、患者本位の医薬分業を推進するため改正薬機法が施行されました。薬剤師や薬局関連では、服薬期間中の継続的な服薬状況の把握や薬学的知見に基づく服薬指導の義務化、機能別薬局認定制度の導入、遠隔服薬指導の規定追加等が明記されました。薬剤師の「モノからヒトへ」の業務シフトがどんどん加速する中、2021年度生涯研修プログラムでは、「患者のための薬学的介入の実践」を目標にします。

なお、withコロナ時代を踏まえて、Webの活用も含め、感染拡大予防策を最大限に講じて研修を実施します。本学学生・教職員の聴講は無料ですので、ふるってご参加ください（参加方法は表下部をご参照ください）。

【生涯研修プログラム】　（2020/12現在）

プログラム名（定員）		開催日時		テーマ／担当講師	単位（G24）	受講料（円）	申込受付期間
フィジカルアセスメント講座	〈入門〉講義（100名予定）	4/11(日) 10:00～16:00 〈280分〉		フィジカルアセスメントを活用して多職種連携を進めよう 1.総論「医師・看護師・薬剤師のフィジカルアセスメントの目的を知ろう」 2.疾病の基礎「患者が示すバイタルサインと症候から処方を提案してみよう」 JCHO 京都鞍馬口医療センター 血液内科 医師 淵田 真一 先生 JCHO 京都鞍馬口医療センター 看護師 門田 典子 先生 医療法人橘会東住吉森本病院 薬剤科 主任 佐古 守人 先生 京都薬科大学 病態生理学分野 准教授 医師 細木 誠之 先生 京都薬科大学 臨床薬学教育研究ｾﾝﾀｰ 講師 薬剤師 救急救命士 今西 孝至 先生	3	5,000	2021年 2/10(水)～ 3/29(月)
	〈実践〉実習（各20名）	4/18(日) 10:00～16:30 〈315分〉		薬剤師だから気付くフィジカルアセスメント推論力 1.(講義・実習)バイタルサイン情報収集スキル習得 2.ランチョンミーティング　3.(講義・SGD)症例検討・発表 4.(実例紹介)私が行っているフィジカルアセスメント JCHO 京都鞍馬口医療センター 血液内科 医師 淵田 真一 先生 JCHO 京都鞍馬口医療センター 看護師 門田 典子 先生 みやこ薬局薬大前店 薬局長／在宅療養支援室長 管理薬剤師 西村 豊 先生 医療法人橘会東住吉森本病院 薬剤科 主任 佐古 守人 先生 京都薬科大学 病態生理学分野 准教授 医師 細木 誠之 先生 京都薬科大学 臨床薬学教育研究ｾﾝﾀｰ 講師 薬剤師 救急救命士 今西 孝 至先生	3.5	10,000	2021年 2/10(水)～ 4/5(月)
		5/9(日) 10:00～16:30 〈315分〉			3.5	10,000	2021年 2/10(水)～ 4/26(月)
卒後教育講座 ～患者のための薬学的介入の実践～ 「モノからヒトへの挑戦」 （360名予定）		第1回 5/16(日) 講演	10:00～11:30 〈 90分 〉	慢性腎臓病の考え方と腎機能低下時の薬物投与について 八田内科医院 理事長・院長 近江八幡市立総合医療センター腎臓センター 顧問 八田 告 先生	3	3日間 12,000	2021年 3/1(月)～ 5/6(木)
			12:30～14:00 〈 90分 〉	CKD患者における薬物動態の変動 京都薬科大学 医療薬科学系 臨床薬学分野 講師 辻本 雅之 先生			
			14:15～15:45 〈 90分 〉	小児薬物療法の現状と問題点～小児薬物療法において薬剤師は何をすべきか～ 医療法人同愛会小澤病院 薬剤部長 昭和大学薬学部病院薬剤学講座 兼任講師 冨家 俊弥 先生			
		第2回 6/13(日) 講演	10:00～11:30 〈 90分 〉	アレルギー性疾患について～特に、アレルギー性結膜疾患について～ 京都府立医科大学 眼科学教室 特任准教授 上田 真由美 先生	3		
			12:30～14:00 〈 90分 〉	即時型アレルギーのメカニズム 京都薬科大学 病態薬科学系 薬理学分野 教授 田中 智之 先生			
			14:15～15:45 〈 90分 〉	検査値を用いた個別化医療の実現 千葉大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長 石井 伊都子 先生			
		第3回 7/4(日) 講演	10:00～11:30 〈 90分 〉	地域包括ケアシステムにおける薬局の役割 ダイドー薬品株式会社 代表取締役社長 山本 新一郎 先生	3		
			12:30～14:00 〈 90分 〉	薬局・病院での栄養療法の基礎から実践まで～現場で使える栄養療法～ 京都桂病院 薬剤科 経営企画室兼務 野崎 歩 先生			
			14:15～15:45 〈 90分 〉	薬局・病院での栄養療法の基礎から実践まで～現場で活かせる基礎知識～ 京都薬科大学 生命薬科学系 衛生化学分野 教授 長澤 一樹 先生			
漢方講座（100名予定）		8/8(日)、9/12(日)、10/10(日)、11/14(日) 予定 全4回 講義 〈300分/日〉		〈詳細未定〉 対象：漢方治療に関心のある薬剤師 10:00-11:40 【基礎】入門的内容 12:30-14:10 【薬物】薬剤師に役立つ内容 14:20-16:00 【臨床】医師からの臨床症例	3/日 全12	4日間 20,000	2021年 6/9(水)～ 7/26(月)
実務支援セミナー実習（20名）		2022年2/27(日) 10:00～16:00 〈280分〉		注射薬の無菌混合調製～がん外来化学療法と在宅療法～ 1.(導入講義)注射薬無菌混合調製に必要な基本的知識、がん外来化学療法の実際 2.(実技実習)衛生的手洗い、手指消毒、帽子・マスク・手袋・ガウンの装着、 注射薬混合調製(アンプル、バイアルの取扱、薬液採取、陰圧操作)、 高カロリー輸液混合調製、配合変化の実態、 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 がん指導薬剤師 中村 暢彦 先生 京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 助手 外来がん治療認定薬剤師 冢瀬 諒 先生	3	10,000	2021年 12/8(水)～ 2022年 2/14(月)
eﾗｰﾆﾝｸﾞ講座		2021年6月～2022年2月 配信予定		2021年度卒後教育講座、2021年度漢方講座の収録動画を順次配信します。 2020年度ｅラーニング講座のコンテンツも再掲載予定です。 〈ご注意〉 過去にｅラーニング講座または対面講義の講座を受講し、既に単位取得済みのコンテンツは、認定単位の配付はありません（視聴のみ可）。	新規 25 （予定）	15,000	2021年 4/1(木)～ 2022年 2/28(月)

【重要】COVID-19の状況により、開催日、会場、定員、実施方法等に変更が生じる可能性があります。
最新情報、詳細は必ずホームページ（https://skc.kyoto-phu.ac.jp/）をご確認ください。

【参加方法】本学学生・教職員の無料聴講について

1) 卒後教育講座、フィジカルアセスメント講座〈入門〉、漢方講座：manabaコースニュースにて案内しますので、Formsでお申込みください。
2) フィジカルアセスメント講座〈実践コース〉、実務支援セミナー：申込受付期間終了後、定員に空きがある場合のみ参加可能です。
メールまたは電話で実務・生涯教育課にお問合せください。
3) ｅラーニング講座：無料視聴を実施する場合は、manabaコースニュースにてお知らせします。

■2020年度生涯研修プログラムのお知らせ

2021年2月10日(水)より「フィジカルアセスメント講座〈入門コース〉」と「フィジカルアセスメント講座〈実践コース〉」、2021年3月1日(月)より「卒後教育講座」の申込受付を開始します。

＊本プログラム内容等は変更される場合があります。

◇フィジカルアセスメント講座〈入門コース〉　※本学学生・教職員無料

「フィジカルアセスメントを活用して多職種連携を進めよう」

＊開催日程：2021年4月11日(日)　10:00～16:00
＊開催場所：京都薬科大学躬行館3階　T31講義室
＊定員：100名　＊受講料：5,000円　＊認定単位：G24　3単位
＊申込受付期間：2021年2月10日(水)～3月29日(月)

◇フィジカルアセスメント講座〈実践コース〉　※薬剤師限定

※申込受付期間終了後、定員に空きがあれば学内（本学大学院生、教職員）からの参加を受付けます。

「磨こう！薬剤師だから気付くフィジカルアセスメント推論力」

＊開催日程：2021年4月18日(日)、5月9日(日)　10:00～16:30　※いずれかの日程を選択
＊開催場所：京都薬科大学　臨床薬学教育研究センター2階
＊定員：各20名　＊受講料：10,000円　＊認定単位：G24　3.5単位
＊申込受付期間：4/18開催：2021年2月10日(水)～4月5日(月)
5/9開催　：2021年2月10日(水)～4月26日(月)

◇卒後教育講座　※本学学生・教職員無料

「モノからヒトへの挑戦～患者のための薬学的介入の実践～」

＊日程：2021年5月16日(日)、6月13日(日)、7月4日(日)　10:00～16:00
＊場所：京都薬科大学躬行館3階　T31講義室、Q31講義室
＊定員：360名(予定)　＊受講料：12,000円　＊認定単位：G24　計9単位（1単位／演題）
＊申込受付期間：2021年3月1日(月)～5月6日(木)

■申込方法

生涯教育センターホームページよりお申込みください。　https://skc.kyoto-phu.ac.jp/

〈ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ講座
入門ｺｰｽ申込ﾍﾟｰｼﾞ〉

〈ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ講座実践ｺｰｽ
1回目(4/18)申込ﾍﾟｰｼﾞ〉

〈ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ講座実践ｺｰｽ
2回目(5/9)申込ﾍﾟｰｼﾞ〉

〈2021卒後教育講座
申込ページ〉

■お問合せ先：京都薬科大学 事務局 実務・生涯教育課　E-mail：s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp
TEL：075-595-4677　(平日 10：00～16：00)　FAX：075-595-4792

2021年度申込受付中

京都薬科大学　履修証明プログラム

Lehmannプログラム

（専門・認定薬剤師資格　取得支援）

社会人向けリカレント教育プログラム(1年コース)です。
★専門・認定薬剤師資格取得サポート
★将来の薬学領域におけるリーダー育成
★少人数担当制(2,3名に1人の指導教員)によるきめ細かな指導
※2021年度は「症例報告書作成コース」を開講します。
（2022年度に「研究計画・実践コース」「論文作成コース」新規開講予定）
詳細は、京都薬科大学ホームページをご覧ください。

NEWS 第106回薬剤師国家試験の概要

学生課

第106回薬剤師国家試験は、次のとおり実施されます。

試験日　2021年2月20日（土）及び同月21日（日）
試験地　北海道、宮城県、東京都、石川県、愛知県、大阪府、広島県、徳島県及び福岡県
試験科目　［必須問題試験］
物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務
［一般問題試験］
・薬学理論問題試験
物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度・倫理
・薬学実践問題試験
物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務
合格発表　2021年3月24日（水）午後2時に厚生労働省ホームページの資格・試験情報のページにその受験地及び受験番号を掲載して発表、合格者に対して合格証書を郵送されます。

受賞・掲載 Report.

■ 公衆衛生学分野の北川翔大さんが優秀発表賞を受賞

2020年8月29日～30日にオンラインで開催された「第37回和漢医薬学会学術大会」において、公衆衛生学分野の北川翔大さんが優秀発表賞を受賞しました。

【優秀発表賞】
受　賞：公衆衛生学分野　博士課程1年次生　北川　翔大
演　題：フキ（Petasites japonicus）地上部含有がん再発予防成分の探索
演　者：北川翔大、松本崇宏、今堀大輔、斉藤洋平、中山祐治、芦原英司、渡辺徹志

■本学の学生6名が「第70回　日本薬学会関西支部大会」において優秀賞を受賞

本学の学生6名が10月10日にオンライン開催の「第70回　日本薬学会関西支部大会」において優秀賞を受賞しました。

【優秀口頭発表賞】
氏　名：代謝分析学分野　博士課程2年次生　古川　武典
演　題：Erythropoietin-producing hepatocellular（Eph）A2受容体を標的としたSPECTイメージングプローブの合成と基礎評価
演　者：古川武典、木村寛之、鳥本英恵、屋木祐亮、河嶋秀和、有光健治、安井裕之

氏　名：臨床腫瘍学分野　博士課程2年次生　茂山　千愛美
演　題：マウス膠芽腫モデルにおけるStat5b阻害による表現型及び生体内での抗腫瘍効果に関する研究
演　者：茂山千愛美、藤田貢、安藤翔太、飯居宏美、中田晋

【優秀ポスター発表賞】
氏　名：薬化学分野　5年次生　井上　拓美
演　題：縮環構造内に硫黄を持つ二核ロジウム触媒とアミド型［7］ヘリセンの合成
演　者：井上拓美[1]、中村梨那[1]、村井琢哉[1]、笹森貴裕[2]、浜田翔平[1]、小林祐輔[1]、古田巧[1]
（[1]京都薬大、[2]名市大システム自然科学）

氏　名：薬化学分野　4年次生　黒川　真由
演　題：ビアリールジカルボン酸からのフェナントリジノン誘導体のワンポット合成
演　者：村井琢哉[1]、Yongning Xing[2]、黒川真由[1]、浜田翔平[1]、小林祐輔[1]、川端猛夫[2]、古田巧[1]
（[1]京都薬大、[2]京大化研）

氏　名：細胞生物学分野　5年次生　門田　彩乃
演　題：ピリジニウム型フラーレン誘導体はウイルス感染リンパ腫に対する細胞増殖を抑制する
演　者：門田彩乃[1]、森口美里[1]、渡部匡史[1]、関根勇一[1]、中村成夫[2]、安野拓実[3]、大江知之[3]、増野匡彦[3]、藤室雅弘[1]（[1]京都薬大・細胞生物、[2]日本医大・化学、[3]慶應大・薬・医薬品化学）

氏　名：薬理学分野　6年次生　藤井　喬子
演　題：アトピー性皮膚炎モデルマウスの痒み行動におけるMrgprA3発現神経の役割
演　者：藤井喬子、宮川亮祐、田中智之、藤井正徳

■微生物・感染制御学分野の鴨志田剛助教が学術奨励賞を受賞

「第63回日本感染症学会中日本地方会学術集会」において、微生物・感染制御学分野の鴨志田剛助教が学術奨励賞を受賞しました。

≪基礎部門≫
受賞者：微生物・感染制御学分野 助教 鴨志田 剛
演　題：リポ多糖を欠損したコリスチン耐性 Acinetobacter baumannii は好中球やβ-ラクタム系抗菌薬により容易に殺菌される
演　者：鴨志田剛，小田真隆，斧康雄

■ 薬物治療学分野の松本健次郎准教授が学会賞優秀演題を受賞

「第22回日本神経消化器病学会」において、薬物治療学分野の松本健次郎准教授が学会賞優秀演題を受賞しました。

受賞者：薬物治療学分野 准教授 松本健次郎
演　題：ラット食道炎モデルの病態におけるTransient Receptor Potential Vanilloid 2 (TRPV2)の関与
演　者：松本健次郎、末永美奈子、林大成、中本智大、安田浩之、加藤伸一

■生薬学分野の中嶋聡一助教がポスター賞1位を獲得

「1st AASP Young Scientist Conference 2020」において、生薬学分野の中嶋聡一助教がポスター賞1位を獲得しました。

受賞者：生薬学分野 助教 中嶋 聡一
演　題：Blood Brain Barrier permeable accelerators on neurite outgrowth “aporphine type alkaloids from Nelumbo nucifera”
演　者：〇Souichi Nakashima, Mamiko Yano, Yoshimi Oda, Minami Hirao, Seikou Nakamura, Hisashi Matsuda

■本学教員のインタビューが京都新聞に掲載されました

生薬学分野 松田教授のインタビューが京都新聞（2020年9月9日夕刊）に掲載されました。

■本学学生が参画しているプロジェクトが京都新聞に掲載されました

本学学生が参画しているプロジェクトチーム「Pharmatchingしておくれやす☆」の活動が京都新聞（2020年10月19日）に掲載されました。

■本学学長のインタビューがメディアに掲載されました

本学学長の「Lehmannプログラム」に関するインタビューがメディアに掲載されました。
掲載記事は以下のURLよりご確認ください。

HOP薬剤師
TOPページ　https://aucfan.com/hop-job/pharmacist/
記事ページ　https://aucfan.com/hop-job/pharmacist/post-33354/

ココファーマ
TOPページ　https://www.pharmama.net/
記事ページ　https://www.pharmama.net/post-1221/

掲載記事については本学ホームページよりご覧いただけます。
https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/paragraph/

京都薬科大学奨学寄附金芳名録

Report.

下記の方々からご寄附をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

＊ 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則及び学生便覧に掲載させて頂きます。
＊ 敬称略、芳名のみ掲載しております。
＊ 100万円以上を頂いた方は、愛学館エントランス『京都薬科大学 高額寄附者顕彰銘板』にも掲載させて頂きます。

2020年9月～2020年11月にご寄附をお寄せいただいた方々

＜ 卒業生・同期会等（五十音順）＞

青田　英行
東　　富雄
川崎　真子
楠山　　龍
進藤　広彦
袖岡　茂徳
中森　省吾
細川千恵美

＜ 昭和46年度卒業50周年記念募金（昭和46年度卒業生）（五十音順）＞

井元　健一
岩瀬　弘子
片岡　紀子
塩崎　長弘
鈴木　信人

＜ 企業・団体・一般（五十音順）＞

株式会社フジタ薬局　藤田洋司
株式会社ファーマシィ

（2020年11月30日現在）

KPUNEWS No. 204　2021年1月発行／編集：KPUNEWS編集委員会
発行：京都薬科大学 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5 ☎075-595-4691（企画・広報課）

※本誌掲載の文章及び写真の無断転載を禁じます。